

令和6年度 東京都立田園調布特別支援学校 学校経営計画

東京都立田園調布特別支援学校長 川崎 淳子

本校は、平成18年の開校以来、社会貢献活動等をとおして地域等との連携や協働の関係を築き、それを基盤として生徒の豊かな社会参加と自立を実現するため、教育活動を行ってきた。令和6年度は、コロナ禍により縮小されていたこの地域等との連携や協働の関係を再構築した上で、より持続可能な教育の取組を充実させていくことを目指していく。

令和6年3月に策定された東京都教育ビジョン（第5次）や、学習指導要領においても共通している生徒の自ら学ぶ意欲を高め、これからの社会で自分らしく活躍する可能性を広げるために、本校は、引き続き地域や社会に開かれた教育課程を展開するとともに、生徒が地域で生き生きと生活するための教育を一層推進していく。

I 目指す学校

「生徒一人一人が、社会参加と自立できる学校」～生徒の可能性を広げ、地域に貢献する学校～

- 1 生徒の人権を尊重し、生徒も自他を大切にする学校
- 2 一人一人の教育的ニーズに応じ生徒の能力を伸長し、可能性を広げる学校
- 3 生徒の社会参加と自立に必要な力を育み、支援する学校
- 4 生徒の心と体の健康づくりを推進し、安心・安全に学校生活を送ることができる学校
- 5 開かれた学校として信頼され、地域に貢献できる学校

II 中期的目標とその達成に向けた方策

「知ろう・考えよう・伝えよう」

この言葉を、本校の教育及び学校経営の基本理念とし、以下の中期的目標と方策を進める。

1 人権を尊重し、自他を大切にする教育の推進

- ①生徒の心情や生活年齢等に配慮した人権を尊重する教育の推進
- ②自己肯定感や自己有用感、お互いの良さを認め合う気持ちや態度の育成
- ③教育活動全体を通じて道徳教育を推進し、思いやりや規範意識の醸成
- ④いじめや体罰、不適切な指導の根絶と未然防止の徹底

2 教育的ニーズに応じ、最大限に能力を伸長し、可能性を広げる教育の推進

- ①生徒の障害特性や発達段階に応じた根拠に基づいた指導の充実
- ②特別支援学校外部専門員（以下「外部専門員」という。）との連携及び研修等による授業力の向上
- ③個別指導計画及び年間指導計画の一層の充実と計画に基づく個に応じた指導内容・方法の創意工夫

3 生徒の実態に応じた社会参加と自立に向けた指導・支援の充実

- ①卒業後のキャリア発達を視野に入れたキャリア教育の実施
- ②生徒本人が望む進路希望の実現に向けた指導・支援の充実
- ③生活支援及び就労に関わる機関等との連携の強化

4 心と体の健康づくりの推進及び安心・安全な教育環境の整備

- ①心身の健康づくりの推進及び生徒の自殺予防に資する教育の実施

- ②災害や不審者を想定した安全の確保及び危機管理の徹底
- ③事故の未然防止に向けた指導及び環境の整備
- ④感染症対策、アレルギー等の事故防止に対する取組の推進

5 地域や関係機関との連携及び地域貢献の充実

- ①地域への社会貢献活動や交流事業の充実
- ②高等学校及び地域関係者からの相談等への支援
- ③学校生活支援シート（個別の教育支援計画）、個別移行支援計画に基づく連携した支援体制の確立
- ④高等学校との交流及び共同学習の実現
- ⑤本校の教育に関する情報発信

6 組織的な学校運営の推進

- ①保護者との連携の強化
- ②外部の専門家を含め学校全体がチームとなって展開する教育活動及び組織としての対応
- ③ライフ・ワーク・バランスの推進による、全ての教職員の働き方の意識改革

Ⅲ 今年度の取組目標とその達成に向けた具体的方策

1 教育活動の目標と方策

(1) 人権を尊重し、自他を大切にする教育の推進

- ア 教員による生徒の人権に配慮した呼称、態度及び言葉遣いの徹底
〔巡回による指導、研修、アンケート及び聞き取り調査〕
- イ 感情的、思い込みの指導ではなく、肯定的な、根拠のある、説明のできる指導の徹底
〔アセスメントに基づく個別指導計画の作成・実施、巡回による指導、研究授業〕
- ウ 教育活動全体を通しての自他を大切にする道徳教育の推進
〔特に日常生活の指導、ホームルーム活動での推進〕
- エ いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応
〔教育相談、アンケート及び聞き取り調査、学校いじめ対策委員会、学校サポートチーム〕

(2) 教育的ニーズに応じ、最大限に能力を伸長し、可能性を広げる教育の推進

- ア 一人一人の実態や障害特性に応じた、見通しのもてる分かりやすい授業の実施及び授業改善
〔構造化、視覚支援、外部専門員の活用を進める、一人1回以上の研究授業〕
- イ 系統性のある各教科等の指導の充実
〔各教科、総合的な探究の時間及び作業学習等に関する研究活動の推進〕
- ウ 一人1台端末、ICT機器や視聴覚教材、外部機関を活用した指導の工夫及び充実
〔個人端末及びオンラインの活用、ゲストティーチャーの活用〕
- エ 保護者の参画による個別指導計画の作成、実施及び評価
〔個別面談、外部専門員によるアセスメント、授業参観等の機会の活用〕
- オ 部活動等とおした自己の力の伸長
〔練習、大会及び発表会〕
- カ 学校2020レガシー
〔パラスポーツ等の体験、パラリンピアン等との交流〕

(3) 生徒の実態に応じた社会参加と自立に向けた指導・支援の充実

- ア キャリアパスポート及びキャリア教育全体計画に基づく、個に応じたキャリア教育の推進
〔キャリア発達の視点に基づいた必要なソフトスキル・ライフスキルの明確化〕

- イ 進路希望の実現に向けた学習指導、生活指導及び進路指導の充実
〔作業学習、就業体験、産業現場等における実習、各種検定、情報提供〕
- ウ 地域等と連携した作業学習の充実
〔生製品の販売、地域施設でのサービスの提供及び作業の実施、外部専門員の活用〕
- エ 主権者教育の実施
〔生徒会活動、係活動〕
- オ 保護者への進路に関する情報提供
〔保護者会、説明会、進路便り、P T Aとの連携〕
- カ 生活支援機関及び就労に関わる機関等との連携の強化
〔学校生活支援シート（個別の教育支援計画）、個別移行支援計画、支援会議〕

(4) 心と体の健康づくりの推進及び安心・安全な教育環境の整備

- ア 生命の大切さの理解及びS O Sの出し方に関する教育の実践
〔教育活動全般、特にホームルーム活動、保健体育、日常生活の指導〕
- イ 体力の向上
〔教科「保健体育」の時間設定、体育祭、部活動〕
- ウ S N Sの適切な使用、薬物乱用防止など健全育成に関わる教育の充実
〔S N S東京ルールに基づくルール設定、外部機関の活用〕
- エ 警察、消防及び地域等と連携した多様な避難訓練及び防災訓練等の実施
〔避難訓練月1回、一泊二日宿泊防災訓練、防災教育推進委員会、セーフティ教室、研修〕
- オ アレルギー等校内における事故の未然防止
〔食物アレルギー対応委員会、アレルギー研修会、A E D研修会、救命訓練〕
- カ 感染症対策の実施
〔生徒の実態に応じた衛生や予防等に関する指導、環境衛生の整備〕

(5) 地域や関係機関との連携及び地域貢献の充実

- ア 地域への社会貢献活動
〔清掃活動、落ち葉プロジェクト 他〕
- イ 高等学校等への支援
〔連絡会の開催、巡回による訪問、理解推進講演会等の活用〕
- ウ 学校生活支援シート（個別の教育支援計画）及び個別移行支援計画の活用による関係機関及び進路先との連携の充実
〔関係機関連絡会、支援会議〕
- エ 行事等をとおしての交流及び共同学習
〔地域の高等学校等〕
- オ 様々な手段を活用した情報発信
〔ホームページ、ツイッター、学校公開、各種便り〕
- カ 都立学校開放事業による生涯教育の実施
〔本人講座、公開講座、施設開放〕

(6) 組織的な学校運営の推進

- ア 保護者との連携の強化
〔保護者会、学校だより、P T Aとの連携〕
- イ 教員及び経営企画室職員、外部の専門家、委託事業者等が一体となった教育活動の実施
〔企画調整会議、報告・連絡・相談の徹底、丁寧な窓口・電話対応〕

- ウ 法令や規則、その他の規程等を遵守し、服務等に関わる事故の防止
〔服務事故防止研修、打合せ等での周知、自己申告制度における面接〕
- エ 適正な自律経営予算の策定及び執行
〔予算調整会議、一般需用費のセンター執行率の向上〕
- オ 学校全体で取り組むライフ・ワーク・バランスの推進
〔リフレッシュ退勤日、超過勤務時間を意識した業務遂行、平準化した業務分担〕

2 重点目標と方策（数値目標）

重点目標と方策	数値目標
1 人権を尊重した教育の推進	
・人権に関する研修会の実施	年間3回
・生徒の人権に配慮した指導、一人一人を大切にした指導の保護者の評価	88%以上
・生徒対象のアンケート及び聞き取り調査によるいじめ等の実態把握	年間3回
2 教育的ニーズに応じた、能力や可能性を最大限に引き出す教育の推進	
・研究授業の実施	全員実施
・個別指導計画を活用した指導・支援の保護者評価	95%以上
・一人1台端末、ICT機器を活用した授業に対する保護者の評価	79%以上
3 生徒の実態に応じた社会参加と自立に向けた指導・支援の充実	
・各種検定の取得	35名以上
・生徒が希望する進路の実現	100%
・生製品の販売、地域施設でのサービスの提供及び作業の実施	年間30回以上
・進路指導に関わる情報提供に対する保護者の評価	85%以上
4 心と体の健康づくりの推進及び安心・安全な教育環境の整備	
・様々な状況を想定した避難訓練の実施	月1回
・防犯対策に関わる保護者の評価	89%以上
・アレルギー、摂食指導、AED等に関わる研修会の実施	年3回以上
5 地域や関係機関との連携及び地域貢献の充実	
・地域清掃活動、落ち葉回収等地域への社会貢献活動	年間5回以上
・学校からの情報発信に対する保護者の評価	87%以上
6 組織的な学校運営の推進	
・保護者の学校評価アンケートの回収率	85%以上
・超過勤務時間を意識した業務遂行	45時間まで